

編集後記

本誌の創刊は1996年であり、その当時は、続けるだけ続けてみようという以上の見通しは持っていなかった。実に旺盛な論考の生産力を有する方々に恵まれて、原稿集めにさして苦慮することもなく、1年のみ発行できなかったが、20号を刊行するに至った。以前も本欄で紹介した、いわゆる地理思想史関係の科研に関わる研究者を中心に、社会理論的、あるいは社会実践的なところにシンパシーを有する研究者、テーマ的に社会のエッジの部分をとらえるフィールドワークをベースにした研究者、などの諸論考を集めてきたのではないかと思われる。本号もそうした指向を見事に反映しているのではなかろうか。原稿集めの裏話的なところで、寄稿される若い研究者の出身大学院は、いくつかに固定されている感もあり、よい意味でのスクールは、そうした拠点をベースに形成し続けていってほしいと願うところである。そうしたカラーのある発信拠点から生み出される論考が、2000年代の日本の地理学界動向において、どのようなインパクトを与えてきたのか、個性のある雑誌だけに、興味深いものがある。

そろそろ定年が見えてきた者として、次世代へのバトンタッチの必要性を感じるとともに、これといったスキルを必要としない、どちらかというと個人芸でつくりあげてきたさまざまな関係やネットワークをどう引き継ぐのかはむつかしいというか、無理なのかもしれない、との感も抱いている。しかし特定のフィールドワークで作り上げた関係の系譜をぜひとも生かすことで、地理学が強いフィールドを生かしていきたい。継続は地理思想科研頼みではあるが、そろそろこのスペースを書くのも次世代にバトンタッチせねばならないであろう。

「空間・社会・地理思想」第20号編集代表者 水内俊雄

空間・社会・地理思想 第20号

発行日／2017年3月27日

編集／科学研究費基盤研究(B)「「コモンズ」をめぐる思想・理論・社会的実践に関する地理学的研究」(研究代表者 遠城明雄)
編集代表者 水内俊雄

編集協力／(有)地域・研究アシスト事務所

発行／©遠城明雄

九州大学大学院人文科学研究院

〒819-0395 福岡市東区箱崎6-19-1

電話・ファックス 092-642-2422

aoarjo@lit.kyushu-u.ac.jp

印刷／ホウユウ(株)

〒590-0982 堺市堺区海山町1-8-4

電話 072-227-8231 ファックス 072-224-1466
